

試験報告書

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 オゾンハイポック

表 題 殺菌効果試験

2017 年(平成 29 年)12 月 08 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

殺菌効果試験

検 体

オゾンハイポック

なお、検体の有効濃度は36 mg/300 mgと依頼者から数値情報の提供を受けた。

試験概要

検体溶液に試験菌液を接種後(以下「試験液」という。), 所定時間後に試験液中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

試験結果

結果を表-1, 試験条件を表-2に示した。また, 培養後の生菌数測定平板を写真-1~5に示した。

なお, 試験液をSCDLP培地で希釈することにより, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを予備試験(表-2 中和条件を参照)により確認した。

表-1 試験液の生菌数測定結果

試験菌	対 象	有効濃度 (mg/L)	生菌数 (/mL)			
			開始時	10分後	30分後	60分後
セレウス菌 (芽胞)	検 体	30	—	<10	<10	<10
	対 照	—	6.8×10^5	—	—	7.9×10^5

<10: 検出せず

保存温度: 室温

対照: 精製水

表-2 試験条件

	試験菌	<i>Bacillus cereus</i> IF0 13494(セレウス菌)	
試験菌液	前培養：普通寒天培地[栄研化学株式会社], 35 °C±1 °C, 7~10日間 加熱条件：70 °C±1 °C, 20分間 菌液調製溶液：精製水 菌数(芽胞)：10 ⁷ ~10 ⁸ /mL		
検体溶液	精製水で有効濃度30 mg/Lに調製		
試験液	検体溶液10 mLに試験菌液0.1 mLを接種		
保存条件	10分, 30分, 60分(室温)		
対照	精製水		
中和条件	SCDLP培地[日本製薬株式会社]で10倍希釈		
生菌数測定	SCDLP寒天培地[日本製薬株式会社], 混積平板培養法	35 °C±1 °C,	2日間

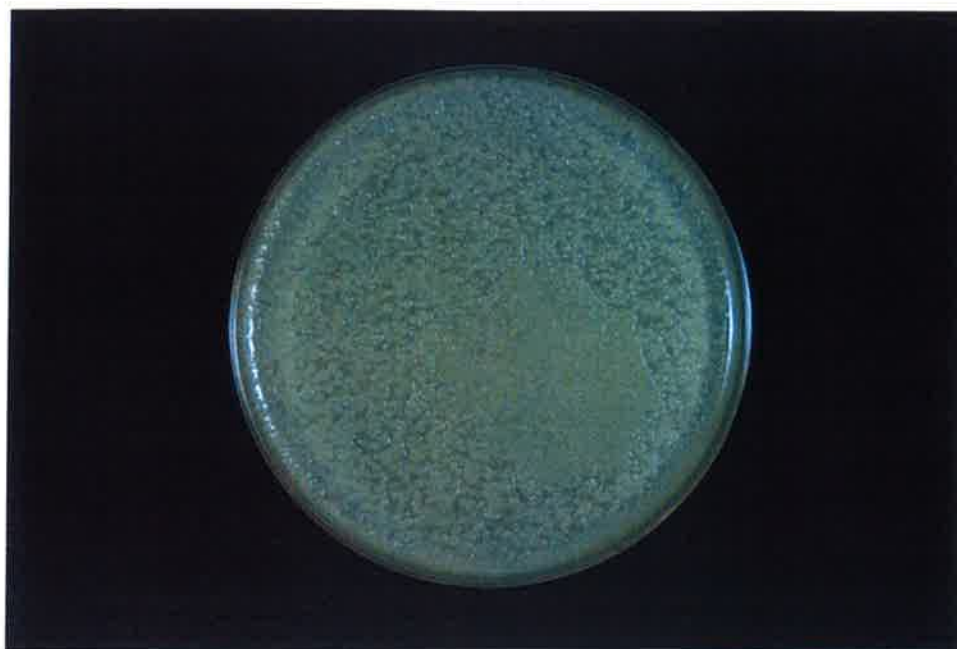


写真-1 セレウス菌(芽胞) 対照 開始時
(試験液 0.1 mL)



写真-2 セレウス菌(芽胞) 検体 10分後
(試験液 0.1 mL)



写真-3 セレウス菌(芽胞) 検体 30分後
(試験液 0.1 mL)

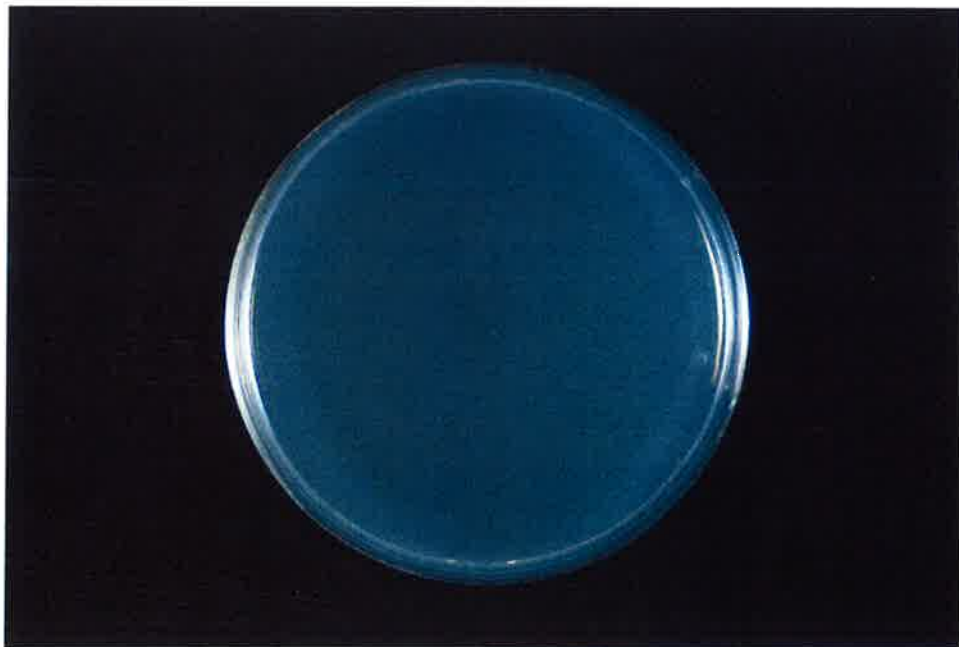


写真-4 セレウス菌(芽胞) 検体 60分後
(試験液 0.1 mL)

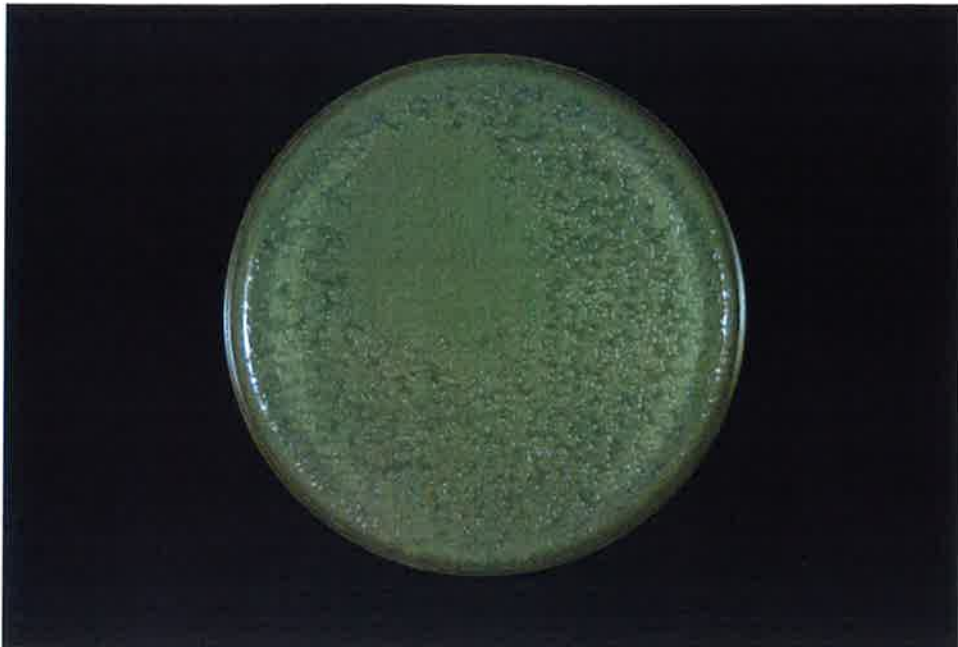


写真-5 セレウス菌(芽胞) 対照 60分後
(試験液 0.1 mL)

以 上